

沿革

- 昭和 45 年 文部省令第 11 号の施行により、群馬県勢多郡富士見村に国立赤城青年の家を設置(4/17)
- 46 年 所旗・所章を制定(2/26)、所歌を制定(3/4)、管理棟・サービス棟・宿泊棟竣工、受入れ開始(3/20)、開所式を挙(4/28)、自然遊歩道完成(8/3)、体育館竣工(12/25)
- 47 年 グラウンド・テニスコート・屋外バレーボールコート竣工(1/30)、武道館竣工(12/15)
- 50 年 特別研修棟竣工(4/13)
- 52 年 野外訓練コース(フィールドアスレチック)竣工(1/28)、大型バス等車庫竣工/自然植物園第 1 次計画造成(12/5)
- 54 年 交流棟竣工(5/31)
- 56 年 講師・ボランティア棟竣工(2/20)、開所 10 周年記念式典挙(4/19)
- 57 年 開所以来延べ宿泊者 100 万人を突破(5/30)
- 60 年 浴室増設(中浴室竣工)(12/16)
- 平成 3 年 開所 20 周年記念式典挙(10/29)
- 6 年 生活棟竣工(3/30)、開所以来延べ宿泊者 200 万人を突破(7/9)
- 7 年 管理棟・宿泊棟・サービス棟他外壁塗装工事、ボイラー1 基更新・湯槽 1 基新設(2/28)
- 8 年 受変電設備更新、給排水設備更新(3/29)、改修工事のため受入休止(H8.11~H9.3)
- 9 年 管理研修棟・談話室・厨房改修工事竣工(3/31)
- 11 年 第 2 キャンプ管理棟竣工(12/17)
- 13 年 独立行政法人国立青年の家国立赤城青年の家に移行(4/1)、開所 30 周年記念式典挙(12/1)
- 14 年 キャンプ場センター棟、屋根付広場竣工(8/1)
- 15 年 浴室棟竣工(3/25)
- 18 年 独立行政法人青少年教育振興機構国立赤城青少年交流の家に移行(4/1)
- 21 年 開所以来延べ宿泊者 300 万人を突破(4/14)
- 22 年 宿泊棟他耐震改修工事完成(3/25)
- 23 年 浴室棟暖房設備他改修工事完成(3/15)
- 27 年 体育館照明落下防止対策工事完成(1/26)
- 27 年 宿泊棟手摺等改修工事完成(2/27)
- 29 年 開所以来延べ宿泊者 400 万人を突破(4/19)
- 30 年 PA、キャンプ場、センター棟、屋根付広場、多目的フィールド及びテニスコートからなる一連の施設を「あかぎアドベンチャーエリア(AAA)」と命名(2/9)、マスコットキャラクター「ササビー」公募にてリニューアル(10/1)
- 31 年 幼児向けの自然を活用した運動遊び場「ササビー広場」完成(3/29)
- 令和 元年 ササビー広場オープニングセレモニー(8/27)
- 2 年 国立大学法人群馬大学との連携・協力に関する協定(3/10)
国立赤城青少年交流の家【公式】YouTubeチャンネルの開設(4/1)
- 3 年 前橋市との地域防災計画に関する協定締結(1/22)、開所 50 周年記念式典(4/24)
国立青少年教育振興機構広域防災補完拠点整備事業に伴う工事
- 4 年 「国立青少年教育施設における教育機能向上を目的とした設備等の充実」
計画における「SDGsを意識できる野外炊事場」工事
- 5 年 「SDGsを意識できる野外炊事場」オープニングセレモニー

